

シンポジウム ポーランド文学の多様性

レム、シュルツ、フォーゲル、工藤幸雄

Różne Oblicza Literatury Polskiej: Lem, Schulz, Vogel, Yukio Kudo

ポーランド20世紀文学の世界的研究者イエジ・ヤジェンプスキ氏の来日を記念し、また、ポーランド前衛文学の翻訳に多大な功績をあげた工藤幸雄氏没後10年経過も想起しつつ、レム、シュルツ、デボラ・フォーゲル、ヴィトカツィ——ふたたび紹介が活気づく20世紀ポーランド文学に関して、専門家と関係作家が報告する。国、国境、言語を超えた「ポーランド文学」の広がりをとらえたい。レムに関する日本未公開のドキュメンタリー・フィルムも上映。

日時: 2019年3月21日(木・祝)

13:00～17:00 (12:30開場)

場所: 東京大学法文2号館2階2番大教室(本郷キャンパス)

(地下鉄丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅 徒歩8分)

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_02_j.html

※予約不要、入場無料

13:00 趣旨説明

13:05～13:35 加藤有子(名古屋外国語大学)「デボラ・フォーゲル『アカシアは花咲く』をめぐって」

13:35～14:05 久山宏一(東京外国語大学)「工藤幸雄の遺稿」

14:05～14:35 小川信治(画家)「インスピレーションとしてのブルーノ・シュルツ」

14:35～15:00 ブルーノ・シュルツ作「獣たち」(クリシエ=ヴェール)

(休憩時間) オリジナル公開(多摩美術大学所蔵)

15:00～16:00 イエジ・ヤジェンプスキ(ヤギェロン大学、クラクフ)「レムの思考」

(Jerzy Jarzębski, “Myślenie według Lema.” ポーランド語、日本語訳映写)

16:00～16:45 ドキュメンタリー・フィルム『スタニスワフ・レム』上映

(1996年、トマシュ・カミンスキ監督、43分、ポーランド語、英語字幕付き、日本初公開)

16:45～17:00 ディスカッション

共催: 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター
東京大学文学部現代文芸論研究室

後援: 日本スラヴ学研究会

協力: 多摩美術大学 小泉俊己研究室

問い合わせ: 加藤有子 akato@nufs.ac.jp

関連企画: 日本スラヴ学研究会特別講演

イエジ・ヤジェンプスキ「ゴンブローヴィチの野性的な若者たち」(Prof. Jerzy Jarzębski, “Gombrowicz’s Wild Youths”) 3月20日(水)17:10-18:30、東京大学法文1号館113教室(本郷キャンパス)、英語・通訳なし

背景画: 小川信治「大鱈通り」